

## 林木育種事業 60 周年記念シンポジウムの開催

森林総合研究所林木育種センターの前身である国立林木育種場が昭和 32 年に設立されて、今年度で 60 周年を迎えたことを記念し、平成 30 年 2 月 16 日(金)に東京都江東区の木材会館において、「豊かで多様な森林の恵みを未来につなげる林木育種」をテーマに、林木育種事業 60 周年記念シンポジウムを開催しました。当日は、国、都道府県、大学等研究機関、関係団体等から 200 名を超える参加がありました。



写真1 沢田理事長による主催者挨拶

シンポジウムでは、森林研究・整備機構沢田理事長からの主催者挨拶、林野庁織田森林整備部長から祝辞をいただいた後、東京大学の井出教授からは、「再造林時代の林木育種」をテーマに基調講演をいただきました。続いて、林木育種センター・育種場から、最近の主な研究成果として次の7課題について発表が行われました。

- これまでの品種開発の取組 育種第一課 田村 明
- 林木育種の次世代化に向けて 育種第一課 高橋 誠
- 林木ジーンバンク事業の成果と今後の方向  
探索収集課 山田浩雄
- 県との連携による第二世代抵抗性アカマツ品種の開発  
関西育種場 岩泉正和
- 特定母樹の普及に向けた取組  
北海道育種場 坂本庄生
- 海外における林木育種の展開  
西表熱帯林育種技術園 千吉良治
- 林木育種におけるバイオテクノロジーのこれまでとこれから  
森林バイオ研究センター 谷口 亨



写真2 東京大学 井出教授による基調講演

さらに、パネルディスカッションでは、岐阜大学の向井教授をコーディネーターとして、5名のパネリストの皆様（網田 全国林業試験研究機関協議会会長、岸 全国山林種苗協同組合連合会会長、後藤 東京大学大学院准教授、星 林木育種センター育種部長、森谷 林野庁研究指導課長）により、今後の林木育種のあり方などについて幅広い観点からご議論をいただきました。



写真3 パネルディスカッションの様子

参加者の皆様からの様々なご意見等を通して、林木育種事業に携わる私どもの責務がこれまで以上に重いものとなっていることを再認識したところです。あらためてご来場いただいた皆様方に感謝申し上げます。

(企画部 育種企画課 藤田 彰宏)

表紙タイトル写真は、林木育種事業 60 周年記念シンポジウムの様子。

※紙ヘリサイクル可



### 林木育種情報 No. 27

平成30年3月20日発行

国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林総合研究所林木育種センター  
〒319-1301 茨城県日立市十王町伊師 3809-1

TEL : 0294-39-7000(代)

FAX : 0294-39-7306

ホームページ <http://www.ffpri.affrc.go.jp/ftbc/index.html>